

出産から約1か月が過ぎて、2匹の「子ムササビ」もずいぶん成長しました。幸い今のところ、ヘビやテンの来襲ありません。一番心配していたフクロウによる「巣の強奪」もなく、親も子も安心して過ごしています。完全な夜行性哺乳類のムササビは、昼は巣箱の中で爆睡しています。その間も授乳は続けていて、2匹の子は代わるがわる、乳をねだっているようです。

出産から1か月经ったとはいえ、ムササビの授乳期間は2か月以上と長いので、子は全く乳離れせず、眼もほとんど開いていない様子です。それでも、前肢と後肢の間に「飛膜」が形成されているのがわかるようになりました。出産直後は「ミミズ」のようだった長い尾にも毛が生えてきて、どうやら間違いなくムササビとして成長しているようです。

現在の巣箱内の様子は、生中継動画をご覧ください。過去12時間分の様子も「巻き戻し」で見られます。また夜間（特に19:30～20:30と深夜0時～2時頃）は、母親が

(2024年4月下旬／北軽井沢／遠隔観測)

